

# 平成30年度 山口県自動車整備技能競技大会 実施要領

## 1. 目的

くるま社会において整備事業の第一線で活躍している自動車整備士の技能について権威ある適正な評価を行い、整備技術のより一層の向上を促すとともに、職責に誇りと励みを与え、かつ、競技大会をとおして整備士相互の連帯交流を強める。一方、整備事業の公共性と業界の教育訓練・技能錬磨の姿勢を広く社会に示し、業界に対する正しい理解と認識を高め、業界の健全な発展と自動車の安全を確保し交通事故防止、公害防止に寄与する。

## 2. 主催

(一社)山口県自動車整備振興会 / 山口県自動車整備商工組合

## 3. 後援

中国運輸局山口運輸支局 / 独立行政法人自動車技術総合機構 中国検査部  
(一社)日本自動車整備振興会連合会

## 4. 協力

県内ディーラー各社

## 5. 会場

山口職業能力開発促進センター  
山口市矢原1284-1

## 6. 開催日時

平成30年11月23日(金曜日)9時30分

## 7. 競技形態

1チーム2名による団体競技

## 8. 出場資格

当会会員事業場で整備作業に従事している1級・2級・3級整備士有資格者で事業者の推薦した者。ただし、メーカー系列のメインディーラー、サブディーラーに勤務している者及び前回までの全国大会入賞者(総合3位まで)はオープン参加とする。

## 9. 参加申込

地区協議会からの推薦による。  
なお、選出の方法は地区協議会に一任する。

## 10. 競技内容

(1)実車競技 (2)基礎競技 (3)アドバイザー競技  
なお、出場チームに対し事前に説明会、競技順番の抽選会を設ける。

## 11. 競技方法

山口県自動車整備技能競技大会の「競技要領」による。

## 12. 表彰

総合得点で採点し、優勝、準優勝、第三位を決め表彰する。

表彰には山整振会長並びに大会実行委員長名併記の賞状<認定証>をそれぞれ授与し、参加各チームには参加賞を授与する。

	優勝	準優勝	第三位	特別賞	参加賞
チーム賞	山整振会長表彰状 山口運輸支局長表彰状 日整連会長表彰状及びカップ	山整振会長表彰状	山整振会長表彰状	オープン参加 チームを対象 とする	入賞チーム 以外の各チ ームに記念 品を贈呈
個人賞	副賞	副賞	副賞		

## 13. 組織

競技大会実施のための大会実行委員会を設ける。

## 14. 全日本自動車整備技能競技大会への参加

本大会の優勝チームを平成31年開催予定の第22回全日本自動車整備技能競技大会の参加競技チームとして認定する。

なお、補欠を準優勝チームの選手2名とし、上記の認定を得た選手が何らかの事情により出場できない場合は、当該選手に代わる選手を大会実行委員会において選定するものとする。

# 【 競 技 要 領 】

## 1. 競技種目及び方法

### (1) 種 目

競技は、実車競技、基礎競技、アドバイザー競技の総合競技とする。

### (2) 形 態

競技は、ブロックに分かれて競技を行う。

なお、具体的なブロック数については参加申込締め切り日以降に決定。

実車競技、基礎競技については、2名で行う。

アドバイザー競技は、2名(選手1名、補佐選手1名)で行う。

### (3) 競技内容及び競技時間

#### 実車競技

1年定期点検整備(日常点検を含む)をベースにした点検整備

上記部分における故障設定、4箇所

#### 補足事項

- ・1年定期点検整備の作業範囲は、日整連発行の「自動車定期点検整備の手引」に準じるものとする。
- ・定期点検整備記録簿は、競技大会用に別途作成された記録簿を使用するものとする。
- ・1年定期点検項目のうち、競技会場にて実施出来ないものについては省略する。また、ジャッキアップを伴う点検は、整備済みとする。  
例：エンジン始動が必要な点検項目などは、1年定期点検整備記録簿に事前に「-」を記入してある。

#### 基礎競技

電気・電子回路に係わる測定技術及び測定結果に基づく診断等について審査する競技

#### アドバイザー競技

お客様への点検結果説明(納車説明)について、アドバイザーとしての的確な対応ができるかを審査するロールプレイング形式の競技

競技時間は、40分間とする

(実車競技、基礎競技、アドバイザー競技の合計時間)

### (4) 競技開始

バインダーを競技開始前に選手に渡し、実行委員長の「開始」の合図により、競技時間を開始する。また、競技中の経過時間は、競技終了「5分前」を実行委員長から指名された者が通知する。

### (5) 競技終了

実行委員長より「競技終了」の合図があったときには、全チームとも速やかに競技を終了し、所定の提出書類(問題用紙)を各チームの審査員に手渡す。なお、時間内に選手が競技を終了したときには、審査員に所定の書類(問題用紙)を提出後、競技終了とし得点に競技時間を考慮する。

### (6) 審査・採点

審査員は、適切な作業が行われたかを採点表、提出書類等で採点する。

## 2. 競技車両・工具測定器等

競技車両は、公平を期するため全車種同一車両(下表のレンタカー)を用意する。

また、競技に伴う工具測定器等については、外部診断器(スキャンツール)は各チームが持参し、それ以外は全て競技会場に準備する。

サービスデータ、修理書など抜粋した資料を事務局で準備する。

メーカー・車名	型 式
軽自動車	

## 3. 審査

(1) 審査委員長は大会実行委員長が兼務、各車両の審査員の配属数については2名とする。

(2) 競技の総得点は、300点満点とし、各部門の配点については、下記のとおりとする。

実車競技 = 100点

基礎競技 = 100点

アドバイザー競技 = 100点

(競技時間・作業態度を加味する)

## 4. 安全の確保

(1) 競技車両・機器の取扱いについての安全に関わる内容は、競技前及び事前説明会で説明し徹底するが、競技時間中にも審査員に説明を受けることができる。

(2) 競技中、安全作業と競技車両の保護に注意して行うが、もし以下の状況になった場合は競技中止になり、「失格」とします。

- ・エンジン回転中、トランスミッションのPレンジからのシフト操作
- ・競技続行が不可能になるほどの選手の負傷又は競技車両の破損

## 5. 順位の決定等

(1) 順位確定について総得点が同点のチームが複数ある場合には、1年定期点検項目の得点が高い方を上位とし、それでも同点のチームがある場合には、アドバイザー競技の得点が高い方を上位に更に、同点ならば競技終了時間が早い方を上位とする。

(2) 競技大会終了後以降に、配点について出場チームから問い合わせがあった場合には、通知するものとする。

# 平成30年度 山口県自動車整備技能競技大会

## 実車競技 / 基礎競技 / アドバイザー競技の流れ

